



VOL. 30 2014 1月号

住マイル情報宅配便

《理想の家づくりをお客様と共に》

住所 京丹後市峰山町安204-7
株式会社 山寅組
本社 住宅事業部(とらちゃんホーム)
0772-62-0308
担当 葉賀(メタボですが、優しさが取り柄です)
坂井(行動力・若さが自慢そして愛があります。)
久下(行動力……どこへでもすぐに駆けつけます)
石田(営業マンなのに口下手ですが、誠意は一番)
《住宅のことならどんなご相談でも》

新年あけましておめでとうございます。
今年は午年 私の干支です 何かいいことありそうな気がします



峰山町 I 邸 屋根の瓦葺きも終わり、内部の造作を頑張っています



与謝野町 H邸 外部のサイディング貼りが完了しました。



久美浜町 N邸 もう2階の床貼りが完了します。思ったより早く完成しそうです。



家づくりの思い N030



健康住宅への挑戦

シックハウス防止策の問題点

平成7~8年頃シックハウス症候群が社会問題になりました
ホルムアルデヒドを発生する内装仕上材・家具等の使用
居住者のライフスタイルの変化(冷暖房設備の設置)
建築基準法(高気密・高断熱)等が主な原因であることが判明しました。

その為平成15年7月に建築基準法が改正されました。

ホルムアルデヒドを発生する内装仕上材の使用制限
天井裏等の制限

24時間機械換気設備設置の義務付である

本当にこんな改正で、シックハウスがなくなりますか、

問題は、高気密・高断熱を主流とした住宅の考え方で

発生する化学物質等を機械換気で補う

こんな住宅で本当にシックハウスは防止できますか、

一番怖いのは、国が決めた基準をクリアできれば安全な住宅だと勘違いしてしまうことです。基準は安全を保障するものではありません、むしろシックハウスは必ず発生するものなので、対策をとってくださいと忠告していると考えて対策を取るべきだと私は考えます。

24時間換気を義務付けられている日本の住宅は、温めた空気を外に逃がしてしまうことや、換気にもエネルギーを必要とするなど、省エネを妨げてしまう矛盾点があります。断熱性能をあげるための空気の気密性は、湿気まで閉じ込めてしまうことになりシックハウス症候群など、健康被害につながる可能性があります。透湿性の高い壁材や断熱材を使用し、壁体内の透湿性能を落さない断熱構造にすることにより空気の流れを作ることにより快適生活が実現します。

正しい家づくりは、機械に頼らずに自然の力を最大限利用する健康住宅は、少し考えを変えるだけで手に入ります。